

明日をひらく都市



YOKOHAMA 2

こうほう
広報よこはま

2025

せかいじゅう

世界中とつながろう！

えいごきょういく

よこはまの英語教育



よこはま さいしん きょういく
横浜の最新の英語教育は2・3ページへ



しちょう
市長だより

よこはま
横浜の子どもたちが、世界のさまざまなできごとに関心を持ち、英語で自分の考えを発信できるようになってほしい。それをめざして、横浜市は横浜市だけの英語教育に力を入れています。

いろいろな国からの英語指導助手をすべての市立小学校・中学校・高校に配置しました。子どもたちは小学校1年生から生きた英語にふれて、自然に英語を使うことができます。これは全国でもめずらしい環境です。

小学校では、英語で日常あいさつやコミュニケーションにとりくみ、英語を学びながら、海外のさまざまな文化を理解する力を育てています。中学校では、国際平和や環境問題などについて英語でディスカッションするプログラムを用意し、実際に使える英語力をさらにのばすことをめざしています。

よこはまし
横浜では、「もっと英語を学びたい！」という子どもたちのやる気にこたえるために教室の外でも、いろいろな国から来た英語を話す人たちといっしょにゲームのように楽しみながら学べるプログラムや、市内に住む外国籍の人の家にホームステイができるプログラムなども充実させました。

私がアメリカで働いたとき、最初にむずかしかったのは「言葉」でした。そして、英語を身につけて、さまざまな国の人と対話を深めていく中で、自身の多様性がすごく高まっていくことも実感しました。

よこはま
横浜の子どもたちが、将来、世界で議論できるコミュニケーション力やリーダーシップを身につけて、国際社会で活躍できるように、横浜だけの英語教育をこれからも充実させていきます。

よこはまし ちやう やまなかたけはる
横浜市長 山中竹春

ぜんこく ばつぐん
 全国でも抜群の
 りょく そだ
 英語力を育てる

よこはまし えいご きょういく 横浜市の英語教育

よこはまし
 横浜だけの
 きょういく
 教育プラン

にゅうがく
 入学してすぐに“生きた英語”にふれられる

ねんせい
 小学校1年生からの英語教育

しょう ちゅう
 小1~中3
 たいしょう
 対象

よこはまし
 横浜市では、AET (Assistant English Teacher : 英語指導助手) を全部の市立学校に配置し、
 ぜんこく
 全国でもめずらしい、小学校1年生から英語にふれられる環境があります。入学してすぐに“生きた英語”にたくさんふれることで、英語の力がどんどん育ちます。



小学校 低学年では、AETとのコミュニケーションを通して基本のあいさつや身近なものの名前を学びます。学年が上がるごとに、もっと多くの単語を使った英会話にとりくみます。

また、市立小学校全校で外国人講師による「国際理解教室」も行っています。英語を学びながら、海外のさまざまな文化も体験して、学んでいきます。

中学校 からは、小学校で身につけた英語の力をさらにのばせるよう、ふつうの英語の授業のほかに、少人数の生徒とAETがグループをつくり、ディスカッションする独自のプログラムがあります。これによって英語での深いコミュニケーション力が育ちます。

授業以外の時間もAETと話す機会は多く、さまざまな場面で実際に使えるコミュニケーション力を育てています。



▲英語のディスカッションのようす

中学生たちの声

最初は英語が苦手だったけれど、
 AETはとてもフレンドリーで、自然と「英語で話してみたい」と思うようになった



先生の出身国や海外に興味を持つようになり、視野が広がったと感じた



小学校のうちから英語にふれていたのので、
 中学校では日本人の先生と話すのと変わらない気持ちでAETと話ができるようになった



▲市立西中学校の生徒たち

AETのこえ

リアルなコミュニケーションを意識して、子どもたちと接しています

- 私はAETとして、子どもたちと接する時“リアル”な英語コミュニケーションを経験してもらえるよう気をつけています。
- 子どもたちには、「失敗してもいいので英語でたくさん話すことにチャレンジしてほしい」と言っています。



◀市立西中学校のAET (英語指導助手) クリス先生



さんか がた
参加型
プログラム

子どもたちのやる気にこたえる

よこはま かがい 横浜の課外プログラム

学校で学ぶ英語に加えて、「もっと英語を学びたい」「自分の力を試してみたい」、そんな子どもたちのために、横浜市では一歩ふみこんだ参加型のプログラムを行っています。

ヨコハマ・イングリッシュ・クエスト

英語を話すいろいろな国の人たちと子どもたちがチームになって、ミッション(課題)をクリアしていく体験型プログラムです。ゲームのように楽しみながら、授業で学んだ英語を実際に使うことで、学ぶという気持ちが高まります。

参加した子どもたちの88%が「英語の学びに役立った」と回答しました。

しょう ちゅう
小5~中3
たいしょう
対象

ミッションクリアにおかって
いっしょにがんばるので、自然と
英語でコミュニケーションがとれた



はまっこ留学

2日間、市内に住む外国籍の人の家でホームステイをする留学体験です。英語による日常生活のコミュニケーションのほか、ホストファミリーと過ごす中でさまざまな国の文化を学べます。

参加した生徒の95%が、「これからもさまざまな国の人と、積極的にコミュニケーションをとりたい」と回答し、70%が「海外留学にも挑戦したい」と回答しました。

ちゅう ちゅう
中1~中3
たいしょう
対象

かいがいりゅうがく
海外留学よりも気軽に
チャレンジしやすくて良かった
しょうらい かいがい りゅうがく
将来、海外に留学したくなった



しんか つづ よこはま 進化し続ける！ 横浜の英語教育

メタバースで世界とつながる



▲メタバース空間での教室のようす

市立のみなとみらい本町小学校(西区)・東高等学校(鶴見区)・西金沢学園(金沢区)では、メタバース空間を活用し、海外の学校とSDGsをはじめとした議論などを行っています。

これからは、さらに交流する国や実施する学校をふやして、世界の児童や生徒とデジタルで交流できるようにし、コミュニケーション体験をふやしていきます。

メタバース空間での交流を
とお かいがい
通して海外の人たちを
み ちか
身近に感じることができた



きょうか まな 英語以外の教科を英語で学ぶ

市立西金沢学園(金沢区)では、算数や図工など、英語以外の教科も英語で学ぶ「英語漬け」の環境をつくっています。これまでの授業にくらべ、英語で学ぶ時間がふえて、小学校低学年ではおよそ8倍にもなります。

さらに、いつも学校にいるAETが、休み時間や給食の時間、そうじの時間など、学校生活のほとんどを子どもといっしょにすごしています。



▲図工の授業を英語で行うようす

／ かんきょう 環境にやさしい行動をヨコハマからはじめよう ／

プラスチックごみの出し方が変わります

し ぜんたい
2025年4月から市全体でスタート！

ようび
集める曜日は
変わりません

よこはまし
横浜市では、プラスチックを燃やすときに出る温室効果ガスを減らすために、これまで燃やすごみとして回収していた**プラスチックだけでできた製品**を、プラスチック製容器包装といっしょに「**プラスチック資源**」として集めることにしました。このリサイクルのとりくみを4月1日から市全体でスタートします。

※旭区・泉区・磯子区・金沢区・港南区・栄区・瀬谷区・戸塚区・中区では2024年10月からすでに始まっています。



新しい分別品目
「プラスチック資源の
出しかた」はこちら



ごみ分別検索辞典
「ミクシヨナリー」は
こちら

新しい分別品目「プラスチック資源」の例

いままでと変わらずに
出せるもの

プラスチック製
容器包装



このマークが
目印です

新しく出せるようになるもの
(プラスチックだけでできているもの)

プラスチック製品



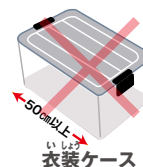
調理器具、台所用品など

おくがいようひん
屋外用品

これらは出せません

50cm以上のもの

(いちばん長い辺が50cm以上) (広げると50cm以上)



衣装ケース



ビニールひも



ビニールシート
など

あつ
厚みがあり、硬いもの

か し
火事になる危険があるもの



まな板など



モバイルバッテリー



ハンディファンなど

きくところ

し げんじんかんきょうぎょう む か
資源循環局業務課

TEL:045-671-3815 FAX:045-662-1225

パマトコ
YOKOHAMA

にんしん
妊娠したときから子育てをサポート！

こ そだ おうえん
子育て応援アプリ「パマトコ」が
さらにパワーアップ！



くわしいことは
こちら



にんさん ぶ
妊産婦・子どもの健康相談

けんこうそうだん

にんしんちゅう こ そだ
妊娠中や子育て中の不安なこと、気になることを、い
つでもどこからでも、アプリで医師などに無料で相談で
きるようになりました。また、い し むりょう そうだん
医師や助産師が回答した
1万件以上の相談を検索することもできます。



よこはま こ そだ おうえん
横浜子育て応援マガジン

子どもと楽しめるおでかけ先や、子育てに役立つ
サービスなどの情報をコラムや特集記事として読め
るマガジンができました。

みんなにシェアしたい口コミも投稿できます！

きくところ

せいしゅうねんきょく き かくちようせい か
こども青少年局企画調整課

TEL:045-671-4281 FAX:045-663-8061



海、港、緑、歴史、地域、人々など、さまざまな魅力を持つ横浜。このまちの彩りを「よこはま彩発見」として届けていきます。今月は横浜の川や運河についてです。

写真で見る都市横浜の河川運河

最近、親水空間(=水にしたしむ場所)として、都市の川が注目されています。横浜では、大岡川(南区ほか)や石崎川(西区))にプロムナードがあって、人びとのいこいの場となっています。こうした都市を流れる川は、横浜でどのようにできてきて、どのような歴史をたどったのでしょうか。現在は埋め立てられて大通り公園(中区・南区)になっている、吉田川・新吉田川に注目してみましよう。

写真は新吉田川の長島橋※1のあたりを撮影したものです。新吉田川は1896年に造られました。明治時代(1868～1912年)、横浜では吉田新田側で町が発展したため、川を整備したり新しい運河を造ったりしました。そのようにして、自然の川である大岡川とともに、川と運河のネットワークができました。

その後、横浜の川や運河は、関東大震災(1923年)で護岸(=水から土地をまもる構造)や橋に被害を受け、国や横浜市による復興工事が進められます。

横浜都市発展記念館 調査研究員 松本 和樹

そのようすを伝えるのがこの写真です。画面中央の長島橋には、復興工事で造られた新設計の親柱※2を見ることができます。護岸はコンクリートの壁となり、両岸には船の貨物の積み下ろしのために物揚場も整備されました。写真は、河川運河が輸送網として活用されていたことを示しています。

その後、吉田川・新吉田川は市営地下鉄の建設工事で埋め立てられ、地上は大通り公園になります。長島橋もなくなりましたが、橋の名前が書かれた板は、吉田川・新吉田川のことを伝えるレリーフとして、今も伊勢佐木長者町駅で保存されています。

※1 現在の伊勢佐木長者町駅と阪東橋駅の中間あたり

※2 橋の両端に設けられる大きき柱



新吉田川(護岸工事が完成した後)横浜都市発展記念館蔵(もと佐藤毅氏の写真)▲

きかくてん
企画展

うんが
運河で生きる
～都市を支えた横浜の“河川運河”～

ゆうりよう
有料

【会場】横浜都市発展記念館 【期間】4月13日(日よう)まで
【交通】みなとみらい線「日本大通り」駅下車、歩いてすぐ



きくところ 横浜都市発展記念館 TEL:045-663-2424 FAX:045-663-2453

2月12日(水よう)から5月30日(金よう)までに手続きを！

2024年度住民税(均等割)非課税世帯に、3万円を給付します

当てはまる人には、2月10日(月よう)から順番に「支給のお知らせ(手続き不要)」または「確認書」を送ります。確認書がとどいた人は、振込先口座などを記入し、必要書類といっしょに返送してください。

※当てはまるのに通知がとどいていない人は、専用ダイヤルできてください。



くわしいことは
こちら

【当てはまる世帯】2024年12月13日の時点で市内に住民登録があり、世帯全員の2024年度住民税均等割が非課税の世帯
【支給額】1世帯当たり3万円(支給は1回だけ)
※18歳以下の子ども1人について2万円を加算

きくところ 専用ダイヤル

TEL:0120-045-320 (月～金よう9:00～19:00〈土・日よう、祝日・休日はお休み〉、ただし2月15日(土よう)・16日(日よう)は休みません)
FAX:0120-303-464

いよいよ来年4月から

よこはまし
横浜市の中学校で
ぜんいんきゅうしょく
全員給食スタート

みんなの声をいかして、よりおいしい給食に

横浜市では生徒のみなさんの声をきき、アイデアをとりいれながら、来年4月からの全員給食にむけて、より良い給食をめざしています。食について学びながら、自分たちの生活の課題解決のために献立を選んだり考えたりすることで、「自分たちでつくる」思いのつまった給食にしていきます。

いっしょのもの、
食べた思い出、
いっしょなもの

「中学校給食メニューコンクール」 優秀賞・特別賞が決定しました

およそ1万人の生徒が参加し、きびしい審査により10点の優秀賞、2点の特別賞、576点の入賞作品が決められました。中学生のフレッシュな思いがいっぱいのメニューです。

寒さに負けない免疫UP給食



ブリのみぞれ煮
わかめともやしのしらす合え
人参シリシリ
豆腐とえびのねりもの
ほうれん草と玉ねぎとカブのピリ辛
豆乳ゴマスープ

ネバーギブUP！夢を応援給食 ～夏を元気にすごそう！～



豚肉と野菜のしょうが焼き
チーズと枝豆とハムの春巻き
りんごとさつまいものミルク煮
オクラとしらすのおかか和え
豆腐とわかめのみそ汁

ファイティン給食



ブルコギ
チヂミ
韓国風のりときゅうりの和え
梨のコンポート
韓国風
ワカメスープ



市長賞
はま
浜中学校2年
このこは
金野 心花さん



受賞者の声

冬の寒さに負けないよう、スープに体がぽかぽか温まるしょうがを入れました。野菜が苦手な人でもビタミンを多くとれるよう、大根をすりおろしてみぞれ煮にするなど食べやすい工夫をしました。



市長賞
なかがわ
中川中学校2年
こいずみ ゆめ
小泉 結愛さん



受賞者の声

夏バテに効果的なオクラを使いました。栄養素をバランスよく入れるのがむずかしかったのですが、母のアドバイスで、デザートは乳製品にしたところ、いざいざや味もゆたかになりました。



市長賞
なら
奈良中学校2年
はがことみ
芳賀 琴美さん



受賞者の声

韓国は歌やドラマで大人気。韓国料理のメニューにすることで、食事でもわくわく感を味わってほしいと考えました。野菜がきらいな人にも楽しんで食べてもらえる栄養たっぷりのメニューです。

生徒といっしょに作る献立のとりくみも！

もっと満足度の高い給食をめざして、生徒による投票をとりいれながら、中学校生活の思い出になるような新しい献立の開発をしています。
ほかにも企業などとのコラボメニューもどんどん提供していきます。お楽しみに！



毎日の献立や食についての豆知識を発信しています



きくところ

きょういく いんかい じ む きょうけんこうきょういく しょくいく か
教育委員会事務局健康教育・食育課

TEL:045-671-4635 FAX:045-681-1456